

長研だより

No. 1

発行日

令和元年9月30日（月）

令和元年度長期研修 （3か月・6か月）スタート

9月24日（火）に、3か月・6か月の長期研修開講式を行いました。

安藤所長の挨拶では、長期研修生に向けて、以下の三つの話がありました。

- ① 自分自身を見つめ、教員としての資質・能力がどのレベルにあるのかを考えてほしい。
- ② 残りの教員人生について、ワークライフバランスの視点から考え、自分がどのような形でこの職を全うするのかを考えてほしい。
- ③ 皆さんは中堅教諭として各学校で活躍をしていると思いますが、内面的な変化を大切にし、中身の濃い研修にしてほしい。

また、長期研修生の代表挨拶は、「長期研修の目標設定に加え、教師の使命感について見つめ直し、理想の教師像を目指していきたい。」との決意が伝わる内容でした。

長期研修生にとって、充実した日々となるよう、センター職員一同、支援していきます。



研究計画について協議をしました。



24日の午後に、研究計画を作成するための班別協議を行いました。

学校の児童生徒の実態に応じた実践的な研究について協議を進めました。長期研修生は指導主事・主査の助言に対して、熱心に耳を傾けていました。

今の自分自身の教員としての資質・能力を素直に見つめ直し、更に「教師力」を高める一助としてほしいと思います。

次は、10月7日の「研究計画検討会」へ向けて研究を進めていきます。

今年の長期研修は「伝える力の育成」を目標の一つに設定しました。長期研修生が自分の言葉で発表したり議論したりすることを通して「主体的・対話的で深い学び」を自ら実践していくことは大切であると思います。今後も様々な研修を通して伝える力を育成し、「教師力」を高めていきたいと考えています。